

上島町の皆さんこんにちは！

魚島地区担当ALTのストライカー・ブライアンです。去年来日してからの一年は早かったですが、その一年で変わったことが多いです。10月になると、2週間ぐらい帰国する予定があります。友達や家族は僕がアメリカから発った日と変わっていないと思っていますが、アメリカのみんなは変わったはずです。僕の従兄弟は自分の家を買ったり、従姉妹も仕事を変わって、3人の仲間は仕事関係でシカゴ市へ引っ越したりして、前とは違います。今月、僕の叔母さんがやっと結婚して、妹も16歳になるので運転出来るようにになります。確かに変わったことが多いです。でも、「方丈記」の始まりを思い出すと、安心します。「ゆく川の流れは絶えずして、しかも、元の水にあらず。」意味はやはり、ギリシャのヘラクレitusという学者の「あなたは、同じ川に二度入ることはできない」と一緒ですね。言い換えれば、世界で変わらないことは移動に過ぎません。この一言の正しさを反論できますが、日常生活で接する点は少なくないです。

毎日、時空世界で、進行していく、戻ることは確かに出来ません。どうして人間は自然に望郷の念があるのでしょうか？僕ははっきりとこの質問を回答できませんが、将来が不定なことと関係があるかも知れません。過去の事を思い出してみると、その時の感情がよみがえるけれど、明日、来週、来年とかはどうなるかと考えたら、分かりません。そう考えると、管理の感触はどんどんなくなると思います。自分には、時間が管理出来る力がなくて、残念ですね。でも同時に、未来が完全に管理出来れば、人生はつまらないでしょう。

## 各地区の英会話教室

《弓削》毎週月曜日 13:30~

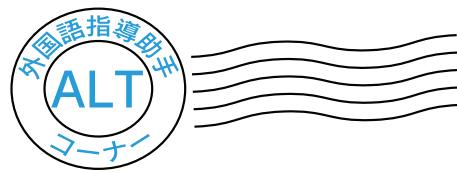
弓削地域交流センター第1会議室

《生名》毎週月曜日 9:00~ 生名公民館

毎週火曜日 19:30~ 生名公民館

《岩城》毎週木曜日 20:00~ 岩城総合支所庁舎

《魚島》毎週水曜日 19:30~ 魚島開発センター



だから、この無力は罰ではなく、恵みだと思います。過去の知識で、前へ一步進むことができますが、将来は未知なことですね。

友達が他のところへ引っ越したりして、毎日のように会えないということは残念ですが、孔子が言う通り、「友達が（珍しくも）遠方から尋ねてきてくれるのは、こんな嬉しいことはない。」1年間とか、5年間とか、一回ぐらい会えて、新しい生活について話し合いが出来れば、いいのではないかでしょうか。新しい友達に会えたり、新たな経験をしたりするのは人生の過程です。友情で自分の知識を友達まで延長すると同時に、友達の知識から学んで、大切な部分は情報を共有します。情報共有を通して、知識や見方が広がります。

今、過去の事を思い出して懐かしい感じがありますが、5年後、今を同じように懐かしく思い出すかもしれません。移動は悪いことではないと思います。移動で、新しい経験が出来るし、自分の可能性も広がるし、移動で機運があがることもあります。そして、今月に友達に会い、過去の事に夢中にならないように新しい生活と新しい経験に注目したいと思います。最初は、移動はつらいんですけど、新しい状況にどんどん慣れます。人生は不思議なことがあります、すべてを理解できないので、一番幸せな人生になるように、これを受け入れたらいいと思います。出来るだけ、知らないことがわかればいいと思いますが、生涯は移動が多くて、何が起こるかよく分かりませんね。だから、僕の家族と仲間の人生はどうなっているかと聞くのを楽しみにしています。



同じく八月には、昨年に引き続き東日本大震災で被害を受けた福島県から「子ども自然ふれあい広場」事業として、児・小学生が大勢上島町に来てくれました。自然と安全に満ち溢れた瀬戸内海を楽しめた四日間であつたとお聞きしました。自然の復興は、この子ども達が必ずや成遂げてくれると確信した一日でした。

上島町出身の村上幸史選手が惜しくも決勝進出を逃し、今シーズンの記録が世界ランキンギ四位だっただけに、御本人は不本意だったのではと思ひます。しかし、ふと考へると「残念じやつた」と我が事のように話ができる私達が、いかに恵まれているか。日本を代表して世界大会に出場する地元出身者を応援できる、その機会を作ってくれた村上選手に、心から感謝を申し上げたいと思ひます。

今年の八月十五日、我が家の近所では「今日は残念じやつたね」が夕方の挨拶でした。世界陸上モスクワ大会のやり投げで、



こんにちは  
町長です

上島町長 上村俊之